

# 大学生活楽しいですか？

## 野辺地

野辺地高校(古川浩樹校長)は10日、生徒がオンラインで県内の大学生と対話する「KIZUNA×TALK」を開催した。進学を希望する3年生6人が画面越しで八戸学院大や弘前大の学生と語り合い、大学生活の様子について熱心に尋ねた。(藤本耕一郎)

## 野辺地高

現役学生の話をはじめに聞くことで進学への意欲を高めてもらおうと、同高が八学大と協力し初めて企画した。対話はビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を使って行われ、一般社団法人tsumugu(つむぐ)の小寺将大代表が進行役を務めた。

高校生たちは校舎内の会議室から対話に参加し、「大学生活は楽しいですか」「(看護)実習はどんなことをしますか」など次々に質問。これに対し、両大学の学生4人が「大学では今まで出会ったことのない

## オンラインで対話

## 八学大・弘大

よつな、いろいろな人と関わる事ができる。新しい感覚を学べ、刺激的」などと答え、学業やサークルの様子を紹介した。

対話は約1時間で終了。同高3年の戸館春菜さん(17)は「オープンキャンパスでは、なかなか聞きづらいところがあると思うが、オンラインだと聞きやすい。細かいところまで直接聞けて良かった」と笑顔で語った。

同高の卒業生で今回八学大の学生の一人として参加した看護学科3年の成田夏音さん(21)は「自分の進路についてしっかりと考えていて、素晴らしいと思った。進路に向けた活動を頑張ってほしい」と後輩たちにエールを送っていた。